

作成日: 2024年11月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: ニューフタルミー ロクダイ S43-145

製品番号 (SDS NO): 63T824-1

製品種類:

フタル酸樹脂塗料

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 一般金属用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 大信ペイント株式会社

住所: 〒532-0032 大阪府大阪市淀川区三津屋北3-3-2

担当部署: 営業・開発ユニット

電話番号: 06-6302-7239

FAX: 06-6309-2731

緊急連絡先電話: 同上

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

発がん性: 区分 1A

生殖毒性: 区分 1A

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響: 追加区分

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

授乳中の子に害を及ぼすおそれ

臓器の障害

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

漏出物を回収すること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の健康有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。

健康に有害であり、急性または慢性中毒の恐れがある。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

塗料が付着した可燃物(ウエス、段ボール等)や塗料カス、スプレーダスト等は自然発火の恐れがあります。速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理して下さい。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化管法 管理番号
エチルベンゼン	23.4	100-41-4	管理番号53
キシレン(異性体混合物)	23.7	1330-20-7	管理番号80
トルエン	0.3	108-88-3	管理番号300
硫酸バリウム	1 - 10	7727-43-7	-
酸化チタン(IV)	1 - 10	13463-67-7	-
シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素)	< 1	7631-86-9	-
メチルエチルケトンオキシム	< 1	96-29-7	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

注記:労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

エチルベンゼン , キシレン(異性体混合物), トルエン , 酸化チタン(IV) ,
シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素) ,
硫酸バリウム(令和7年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

エチルベンゼン , キシレン(異性体混合物), トルエン , 酸化チタン(IV) ,
シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素) ,
硫酸バリウム(令和7年4月1日施行) , メチルエチルケトンオキシム(令和7年4月1日施行)

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

エチルベンゼン , キシレン(異性体混合物)

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

蒸気、ガス等を大量に飲み込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくし安静にする。
呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。
直ちに医師の手当てを受けること。
蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所に安静にし、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
症状が改善しない場合は、医師の診断を受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
付着物を布にて素早く拭き取る。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
出来るだけ早く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示以外では無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

水を使用してはならない。

消火を行う者への勧告

消火方法

指定の消火剤を使用すること。水を消火に用いてはならない。

適切な保護具(耐熱着衣など)を着用する。

消火活動は風上より行うこと。

安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から、素早く取り除く。

高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

屋内では換気をしっかり行う。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

付近の着火源、高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項

河川への排出により、環境への悪影響を起こさないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

静電気対策のため、装置などは接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。

工具は火花防止型のものを使用する。

作業中は、帯電防止型の作業服、安全靴を使用する。

スプレーダストや製品が付着した布、紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。

皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

過去にアレルギー症状を発症している人は取り扱わないこと。

取扱い後は手、顔をよく洗い、うがいをする。休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

塗装上の注意

保護眼鏡/保護面を着用すること。

塗装時は局所排気装置を稼働させて有機溶剤蒸気が滞留しないようにすること。
 塗装中は有機溶剤蒸気及び、塗料ミストにさらされるので、防毒マスク(フィルタ付)又は送気マスク、保護眼鏡、保護服、安全靴などの保護具を着用すること。
 長時間塗装する場合は、送気マスクを着用すること。
 タンク、地下室のような密閉された場所における塗装作業には、局所排気装置を付け、送気マスク、保護眼鏡、保護服、安全靴などの適切な保護具を着用すること。
 塗装作業場に着火源となるものを持ち込まないこと。又、万一の出火に備えて適切な消火器を準備すること。
 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで水に漬けておくこと。
 塗装後の乾燥は換気量を十分に確保し、塗料の臭気なくなるまで換気を継続すること。

衛生対策
 保管上の注意

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 日光の直射を避ける。通風の良い所に保管する。
 火気、熱源から遠ざけて保管する。
 冷暗所、乾燥した場所に保管する。
 盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

(エチルベンゼン)
 作業環境評価基準 20ppm
 (キシレン(異性体混合物))
 作業環境評価基準 50ppm
 (トルエン)
 作業環境評価基準 20ppm

許容濃度

(エチルベンゼン)
 日本産衛学会(2020) 20ppm; 87mg/m³ (皮)
 (キシレン(異性体混合物))
 日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³
 (トルエン)
 日本産衛学会(2013) 50ppm; 188mg/m³ (皮)
 (酸化チタン(IV))
 日本産衛学会(2022) 1.5mg/m³ (吸入性粉塵); 2mg/m³ (総粉塵)
 (シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))
 日本産衛学会(2006) (結晶質シリカ) 0.03mg/m³ (吸入性粉塵)
 (エチルベンゼン)
 ACGIH(2021) TWA: 20ppm (上気道及び眼刺激; 聴覚毒性; 腎臓影響; 中枢神経系障害)
 (キシレン(異性体混合物))
 ACGIH(2021) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)
 (トルエン)
 ACGIH(2020) TWA: 20ppm (中枢神経系、視覚及び聴覚障害; 女性生殖系影響; 妊娠損失)
 (硫酸バリウム)
 ACGIH(2014) TWA: 5mg/m³(I, E) (じん肺症)
 (酸化チタン(IV))
 ACGIH(2021) TWA: 2.5mg/m³(R) (下気道刺激; じん肺症)
 (シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))
 ACGIH(2010) TWA: 0.025mg/m³(R) (肺線維症; 肺がん) (結晶質シリカ, alpha-クォーツ及びクリ

ストバライト)

[ACGIH] 特記事項

(エチルベンゼン)

聴力障害

(キシレン(異性体混合物))

聴力障害

(トルエン)

聴力障害

ばく露防止

設備対策

取扱設備は防爆型を使用する。

排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。

液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るように設備すること。

取扱場所の近くには高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。

タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

保護具

呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスク(フィルタ付)又は送気マスクを着用する。

密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具

取扱いには保護眼鏡を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：レッド

臭い：溶剤臭

融点/凝固点データなし

沸点136℃

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限及び爆発上限/可燃限界：

爆発下限：1.0vol %

爆発上限：6.7vol %

引火点：28℃

自然発火点：432℃

分解温度データなし

pH：知見なし

動粘性率データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧：700Pa(20℃)

密度及び/又は相対密度：1.02g/cm³(23℃)

相対ガス密度(空気=1)データなし

20℃での蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

反応性

酸化剤との接触により発熱の恐れがある。

燃焼するとCOなどを発生することがある。

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500-4700mg/kg (AICIS IMAP, 2020)

(キシレン(異性体混合物))

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

(酸化チタン(IV))

rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)

(シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))

rat LD50 >3300mg/kg, >2000mg/kg et al. (ECETOC JACC, 2006; SIDS, 2006)

(メチルエチルケトンオキシム)

rat LD50=930mg/kg (male), 1620mg/kg (female) (CLH Report, 2017)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

rabbit LD50=15400mg/kg (ACGIH, 2011)

(キシレン(異性体混合物))

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

(酸化チタン(IV))

hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

(シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))

rabbit LD50 >2000mg/kg, >5000mg/kg (ECETOC JACC, 2006; SIDS, 2006)

(メチルエチルケトンオキシム)

rabbit LD0=1000mg/kg, LD100=1800mg/kg (SIDS (J), Access on 10. 2008)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由書, 2020)

mist: rat LC50=55mg/L/2hr (換算値: 27.5mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2015)

(キシレン(異性体混合物))

vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)

(トルエン)

vapor: rat LC50=3319-8800ppm/4hr (EU-RAR, 2003) et al.

(酸化チタン(IV))

dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

(トルエン)

ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

ラビット 軽度の刺激 (NITE初期リスク評価書, 2007 et al)

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)

(トルエン)

ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003)

(シリカ (結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))

ラビット 回復性の眼刺激性 (SIDS, 2006; ECETOC JACC, 2006)

(メチルエチルケトンオキシム)

ラビット (GLP) 角膜混濁、虹彩炎及び結膜充血が6/6例全例、結膜の壊死が2/6例、影響は非可逆的 (ECHA RAC Opinion, 2018)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチルエチルケトンオキシム)

cat. 1; IUCLID, 2000

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[製品]

区分 1A, 発がんのおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000)

(酸化チタン(IV))

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

(シリカ (結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))

cat.1A; (ECETOC JACC No. 51, 2006)

(メチルエチルケトンオキシム)

cat.1B; EU Carc. 1B (EU CLP, Accessed July 2022)

[IARC]

(エチルベンゼン)

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(キシレン(異性体混合物))

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない
(トルエン)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない
(酸化チタン(IV))

Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない
(シリカ (結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない(シリカ, 非晶質)
[ACGIH]
(エチルベンゼン)

A3(2021): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(キシレン(異性体混合物))

A4(2021): ヒト発がん性因子として分類できない
(トルエン)

A4(2020): ヒト発がん性因子として分類できない
(酸化チタン(IV))

A3(as Finescale particles)(2021): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(シリカ (結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))

A2(2010): ヒト発がん性の疑いがある (結晶質シリカ, alpha-クォーツ及びクリストバライト)

[日本産衛学会]

(エチルベンゼン)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

(酸化チタン(IV))

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

(シリカ (結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))

第1群: ヒトに対して発がん性があると判断できる物質(結晶質シリカ)

[EU]

(メチルエチルケトンオキシム)

Category 1B: ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性

[製品]

区分 1A, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

追加区分, 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

cat. 1B; 産衛学会許容濃度等の勧告, 2021; ACGIH 7th, 2011 et al.

(キシレン(異性体混合物))

cat. 1B; ATSDR, 2007

(トルエン)

cat. 1A; NITE初期リスク評価書 87, 2006

cat. add; SIDS(J), Access on Apr. 2012

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(キシレン(異性体混合物))

肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓 (NITE有害性評価書, 2008)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

気道刺激性 (ACGIH, 2011; AICIS IMAP, 2020)

(トルエン)

気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)

(シリカ (結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))

気道刺激性 (SIDS, 2006; ECETOC JACC, 2006)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

麻酔作用 (ACGIH, 2011)

(キシレン(異性体混合物))

麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)

(トルエン)

麻酔作用 (EHC 52, 1985; IARC 47, 1989)

(メチルエチルケトンオキシム)

麻酔作用 (ECHA RAC Opinion, 2018)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

聴覚器、神経系 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 2020)

(キシレン(異性体混合物))

神経系、呼吸器 (NITE有害性評価書, 2008)

(硫酸バリウム)

呼吸器 (CICAD 33, 2001)

(酸化チタン(IV))

呼吸器 (SIDS, 2015)

誤えん有害性

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.63 mm²/s (40°C) (CLH Report, 2010)

(キシレン(異性体混合物))

cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm²/s (25°C) (HSDB, 2014)

(トルエン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.86 mm²/s (40°C) (計算値) (粘性率 : 0.727 mPa
*s (Renzo,1986), 密度 : 0.8483 g/mL (CRC 91st, 2010))

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性

区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

甲殻類 (ベシシュリンプ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2007)

(キシレン(異性体混合物))

魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2006)

(硫酸バリウム)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=32mg/L/48hr (CICADs, 2001)

(酸化チタン(IV))

甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)

(メチルエチルケトンオキシム)

藻類 (ムレミカツキモ) ErC50=16mg/L/72hr (MOE既存点検結果, 1997)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第13巻, 2015)

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) NOEC=0.74mg/L/7days (NITE初期リスク評価書, 2006)

(メチルエチルケトンオキシム)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >=100mg/L/21days (MOE既存点検結果, 1997)

水溶解度

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)

(トルエン)

溶けない (ICSC, 2002)

(硫酸バリウム)

溶けない (ICSC, 1999)

(酸化チタン(IV))

溶けない (ICSC, 2002)

残留性・分解性

[成分データ]

(エチルベンゼン)

急速分解性なし (良分解性; 標準法におけるBODによる分解度 : 0% (通産省公報, 1990))

(キシレン(異性体混合物))

急速分解性なし (BODによる分解度: 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

(トルエン)

BODによる分解度: 123% (既存点検)

(メチルエチルケトンオキシム)

急速分解性なし (BODによる分解度 : 24.7% (METI既存点検結果, 1978))

生体蓄積性

[成分データ]

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)

(キシレン(異性体混合物))

log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)

(トルエン)

log Kow=2.73 (PHYSPROP DB, 2008)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

廃塗料、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
容器、機器装置などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
廃塗料などを焼却処理する場合には、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン特別措置法及び都道府県条例にもとづき処置する。
塗料製品、廃塗料及び焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当することがあるので、廃棄はこの法律によって行うこと。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料（ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、シェラック、ワニス、ポリッシュ、液体フィラー、液体ラッカー系を含む）又は塗料関連材料（ペイント希釈剤又は還元化合物を含む）

分類または区分 : 3

容器等級 : III

指針番号: 128

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）: 該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

エチルベンゼン

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

キシレン(異性体混合物); トルエン

粉じん障害防止規則

酸化チタン(IV); シリカ（結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素）

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); トルエン; 酸化チタン(IV);

シリカ（結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素）;

硫酸バリウム(令和7年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); トルエン; 酸化チタン(IV);

シリカ（結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素）;

硫酸バリウム(令和7年4月1日施行); メチルエチルケトンオキシム(令和7年4月1日施行)

別表第1 危険物（第1条、第6条、第9条の3関係）
 危険物・引火性の物（0℃ ≤ 引火点 < 30℃）
 健康障害防止指針公表物質（法第28条第3項）
 エチルベンゼン
 皮膚等障害化学物質（規則第594条の2）
 キシレン（異性体混合物）；トルエン；メチルエチルケトンオキシム
 化学物質管理促進（PRTR）法
 第1種指定化学物質
 エチルベンゼン（23%）
 キシレン（24%）
 労働基準法
 疾病化学物質（規則別表第1の2第4号1）
 キシレン（異性体混合物）；トルエン
 消防法
 危険物
 第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III（指定数量 1,000L）
 化審法
 優先評価化学物質
 トルエン；エチルベンゼン；キシレン（異性体混合物）；メチルエチルケトンオキシム
 じん肺法
 酸化チタン（IV）；シリカ（結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素）
 悪臭防止法
 キシレン（異性体混合物）；トルエン
 大気汚染防止法
 ばい煙 有害物質 政令第1条第1号から第5号
 硫酸バリウム
 揮発性有機化合物（VOC）法第2条第4項
 エチルベンゼン；キシレン（異性体混合物）；トルエン
 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質
 エチルベンゼン；キシレン（異性体混合物）；トルエン
 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質／優先取組物質
 トルエン
 水質汚濁防止法
 指定物質
 キシレン（異性体混合物）；トルエン

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
 IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
 IATA 航空危険物規則書 第65版（2024年）
 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
 2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
 JIS Z 7252 : 2019
 JIS Z 7253 : 2019
 Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
 ラベル表示がSDSと異なる場合があります。使用する前に必ず、SDSにて安全性の確認を行って下さい。